

決算説明資料（連結）

2018年3月期 第3四半期

インヴァスト証券株式会社

1. 四半期決算概況 (2017.10～12)
2. 通期決算概況 (2017.4～12)
3. 株主還元・配当政策
4. トピックス
5. Mission/Vision・経営戦略



四半期決算概況 (2017.10~12)



2018年3月期 第3四半期決算 (2017.10-12) のポイント

■ 営業収益は10億18百万円 (前年同四半期比+22.2%)

- 国内金融事業 (当社) の純営業収益は、7億33百万円 (前年同四半期比+11.8%)
セグメント利益42百万円 (前年同四半期は△174百万円) を計上
- 海外金融事業 (豪州子会社 I F S) は、純営業収益2億71百万円 (同+53.1%)
セグメント利益63百万円 (同+127.8%) を計上
 - 子会社 I F S の業績好調継続、店頭 E T F 「トライオート E T F」 の収益貢献が本格化したこと等により、トレーディング損益は前年同四半期比+45.1%の8億21百万円
 - 取引所 F X 「くりっく365」 の市場低迷を受け、受入手数料は前年同四半期比△22.9%の1億39百万円

■ 販売費・一般管理費は8億95百万円 (前年同四半期比△8.5%)

- シストレ24への大規模広告投資を行った昨年に比べ、広告宣伝費は減少 (同△38.3%)
- 顧客関連資産の償却終了により、減価償却費が減少 (同△12.5%)

■ 営業利益1億6百万円 (前年同四半期△146百万円)

経常利益91百万円 (同△150百万円)

親会社株主に帰属する四半期純利益は1億20百万円 (同△137百万円)

- 子会社 I F S の消費税還付に伴う特別利益37百万円を計上

四半期毎の連結業績推移

単位：百万円	2017年3月期				2018年3月期				対直前 四半期 増減率 (18/2Q比)	対前年 四半期 増減率 (17/3Q比)
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q		
営業収益	924	742	833	1,048	943	989	1,018		+3.0%	+22.2%
受入手数料	217	162	180	151	146	147	139		△5.1%	△22.9%
トレーディング損益	617	503	565	829	736	790	821		+3.9%	+45.1%
金融収益	7	5	5	6	11	13	25		+84.2%	+341.3%
その他の営業収益	82	70	81	61	48	38	33		△13.3%	△59.1%
金融費用	0	2	0	1	4	8	17		+105.9%	+2,135.1%
純営業収益	924	740	832	1,047	938	981	1,001		+2.1%	+20.3%
販売費・一般管理費	848	866	979	893	843	868	895		+3.1%	△8.5%
営業損益	75	△126	△146	154	95	112	106		△5.4%	—%
経常損益	71	△128	△150	137	98	108	91		△15.6%	—%
税金等調整前四半期 純損益	77	△128	△128	76	103	108	128		+18.7%	—%
親会社株主に帰属する 四半期純損益	52	△108	△137	73	94	101	120		+18.8%	—%

四半期毎の連結業績推移（販管費の内訳）

単位：百万円	2017年3月期				2018年3月期				対直前 四半期 増減率 (18/2Q比)	対前年 四半期 増減率 (17/3Q比)
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q		
販売費・一般管理費	848	866	979	893	843	868	895		+3.1%	△8.5%
取引関係費	212	245	327	208	177	201	234		+16.1%	△28.6%
(内、広告宣伝費)	(112)	(154)	(223)	(96)	(83)	(116)	(137)		+18.8%	△38.3%
人件費	233	211	227	243	247	254	252		△0.6%	+11.2%
不動産関係費	270	282	301	307	291	291	296		+1.5%	△1.9%
(内、システム関連費)※	(224)	(234)	(246)	(248)	(236)	(231)	(232)		+0.5%	△5.6%
事務費	6	9	6	5	6	7	8		+8.9%	+18.9%
減価償却費	88	84	80	80	78	80	70		△12.7%	△12.5%
租税公課	23	17	21	30	26	21	24		+13.3%	+11.7%
その他	14	15	13	17	15	12	10		△16.1%	△25.9%

※システム関連費…主に、店頭F X、店頭E T F 等におけるI Tベンダーへのシステム利用料です。

- ・「トライオートETF」のP R活動強化により、広告宣伝費は直前四半期比+18.8%の1億37百万円となるが、「シストレ24」フルオートリリースに伴う広告宣伝を行った前年同四半期比では△38.3%と減少。
- ・顧客関連資産の償却終了により、減価償却費は直前四半期比△12.7%、前年同四半期比△12.5%の70百万円となる。

四半期毎の連結業績推移（セグメント別）

単位：百万円	2017年 3 月期				2018年 3 月期				対直前 四半期 増減率 (18/2Q比)	対前年 四半期 増減率 (17/3Q比)
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q		
国内金融事業（当社）										
純営業収益	782	603	655	728	710	753	733		△2.7%	+11.8%
セグメント損益	64	△131	△174	31	40	67	42		△36.9%	—%
海外金融事業（海外子会社 I F S）										
純営業収益	144	139	177	319	229	230	271		+17.6%	+53.1%
セグメント損益	10	5	27	122	54	44	63		+42.2%	+127.8%

- ・国内金融事業は、直前四半期比では減収減益となったものの、トライオートETFの収益貢献が本格化したことにより、前年同四半期比では増収増益。
- ・海外金融事業の成長著しく、直前四半期比、前年同四半期比ともに増収増益。

・報告セグメントの変更について

2018年3月期より報告セグメントを4区分から、「国内金融事業」および「海外金融事業」の2区分に変更しております。

変更の理由は、経営資源配分や投資などの経営判断を国内事業と海外事業という区分毎に行っているという経営管理体制の実態等を鑑み、より適切であると判断したことによるものです。



通期決算概況 (2017.4~12)

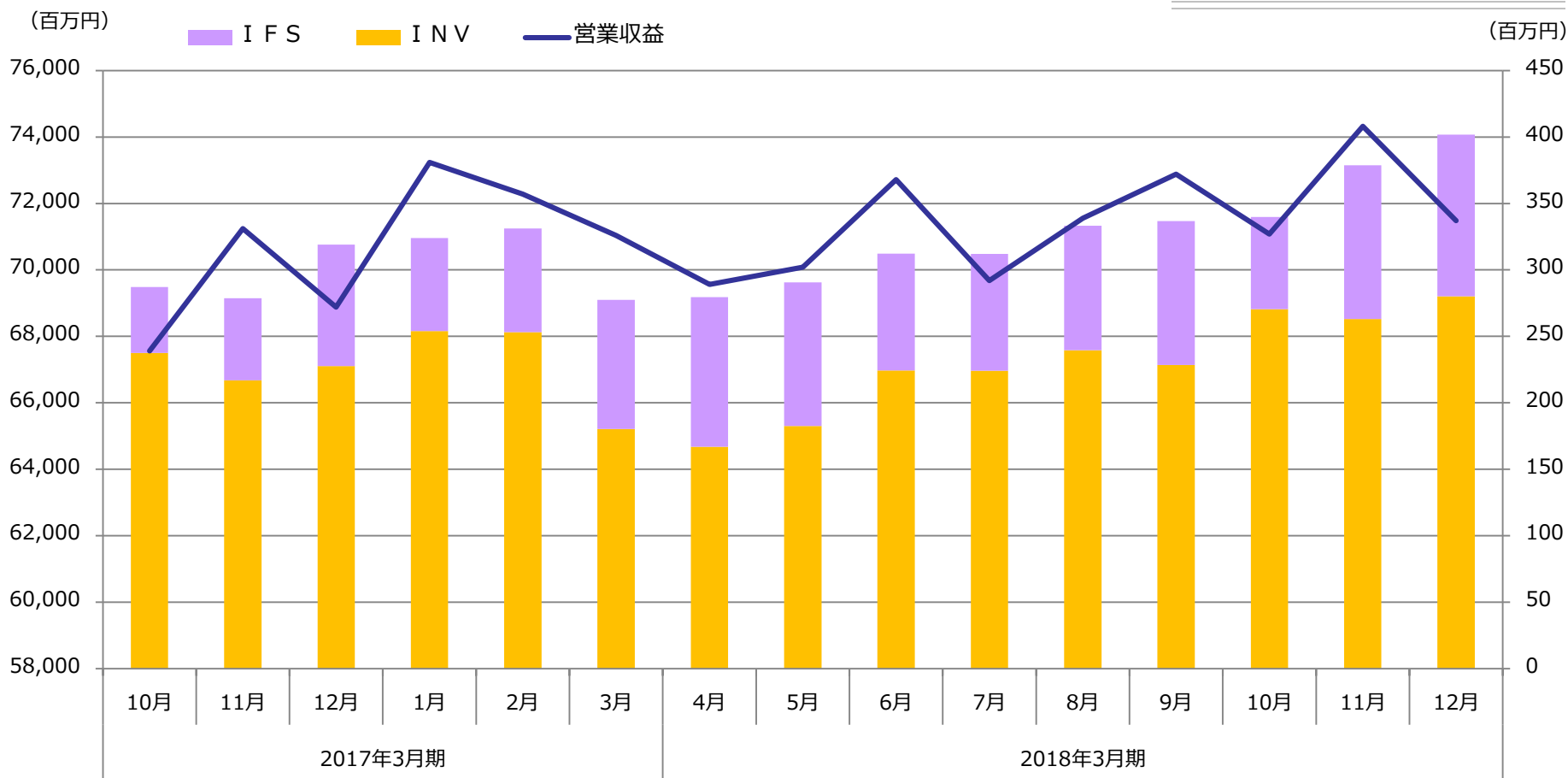
連結業績サマリー

単位：百万円	2017年3月期 3 Q 累計	2018年3月期 3 Q 累計	対前期 増減率
営業収益	2,500	2,951	+18.0%
受入手数料	560	432	△22.8%
トレーディング損益	1,686	2,348	+39.2%
金融収益	19	50	+165.6%
その他の営業収益	233	119	△48.8%
金融費用	3	29	+800.1%
純営業収益	2,497	2,921	+17.0%
販売費・一般管理費	2,694	2,607	△3.2%
営業損益	△197	313	—
経常損益	△207	299	—
税金等調整前当期純損益	△179	340	—
親会社株主に帰属する当期純損益	△192	316	—

単体業績サマリー

単位：百万円	2017年3月期 3 Q累計	2018年3月期 3 Q累計	対前期 増減率
営業収益	2,045	2,227	+8.9%
受入手数料	533	345	△35.2%
トレーディング損益	1,277	1,726	+35.1%
金融収益	1	31	+1,536.0%
その他の営業収益	232	123	△46.8%
金融費用	3	29	+800.1%
純営業収益	2,042	2,197	+7.6%
販売費・一般管理費	2,283	2,046	△10.4%
営業損益	△241	150	—
経常損益	△237	149	—
税引前当期純損益	△230	153	—
当期純損益	△243	129	—

【連結】 営業収益・預り証拠金推移

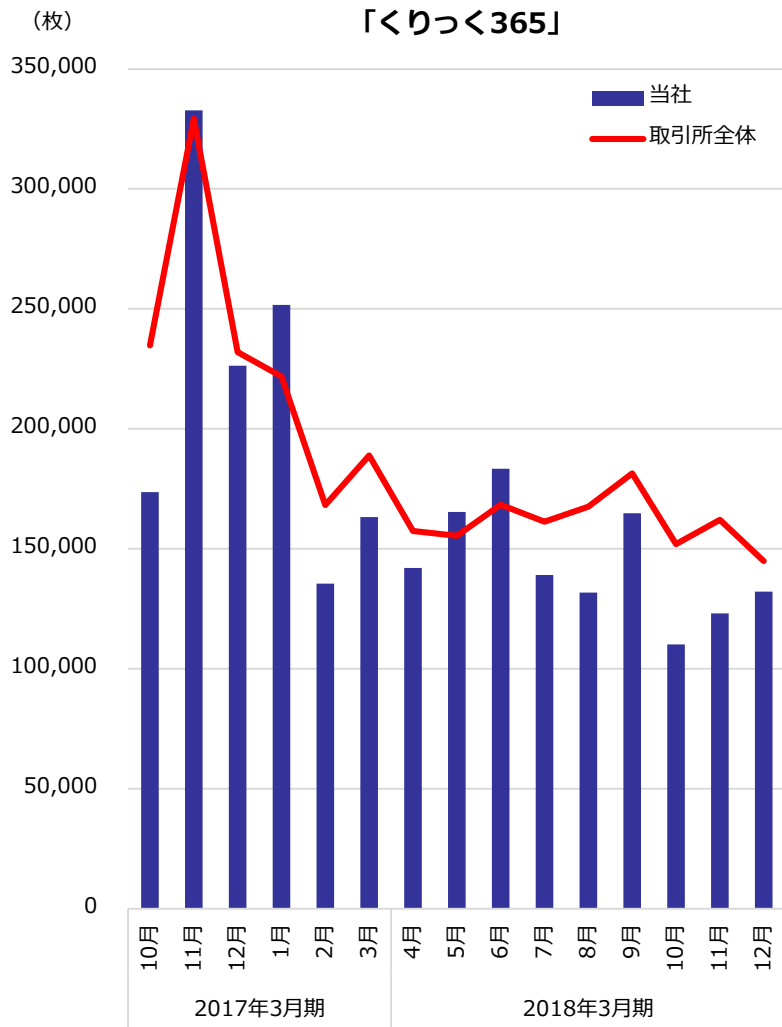


- (注) 1. 連結子会社 I F S の決算日は12月末となっているため、上記数値は、発生から3ヶ月遅れで連結しております。
 2. I F S の営業収益等は、月中平均為替レートを用いて円換算しております。
 3. 2017年3月より、「くりっく株365」事業に係る預り証拠金の表示方法を変更したことにより、当該事業に係る預り証拠金が減少しております。

【取引所FX・取引所CFD】取引高推移

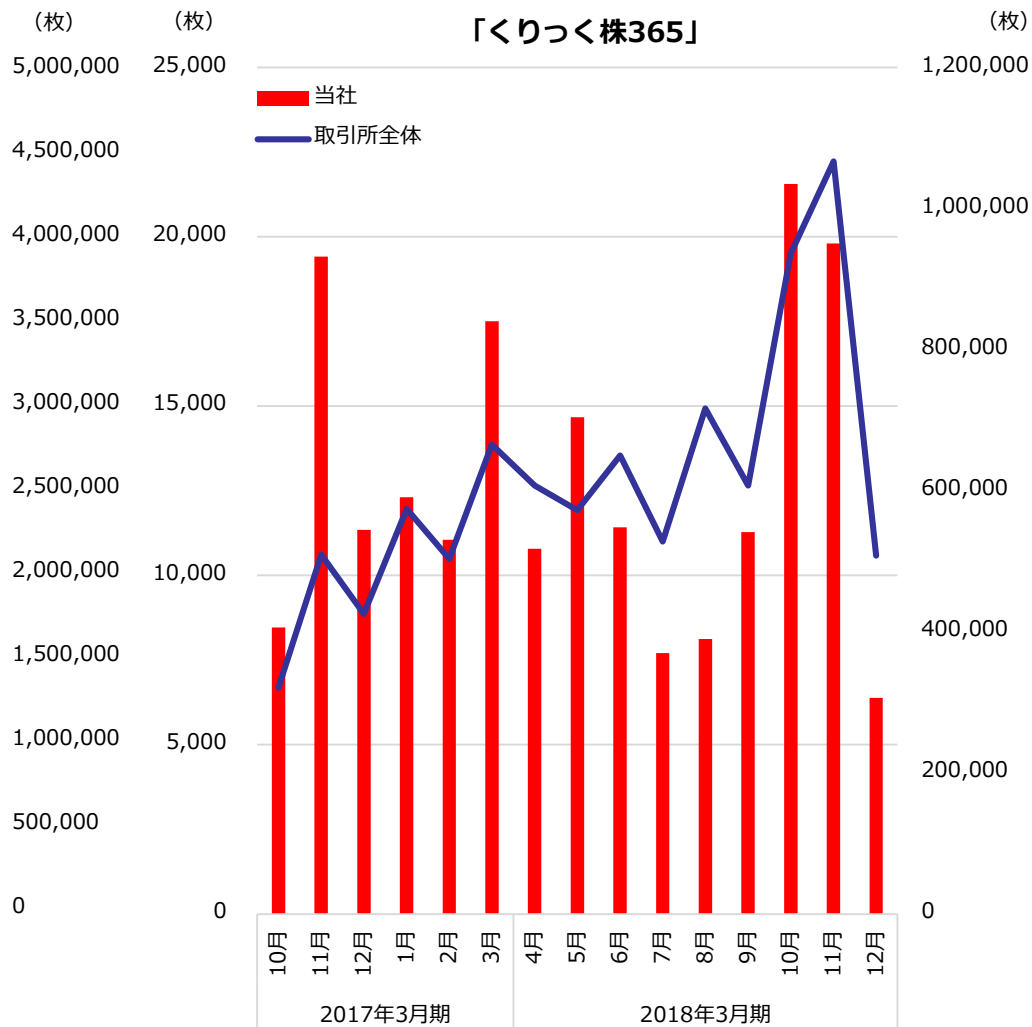
取引所FX

「くりっく365」



取引所CFD

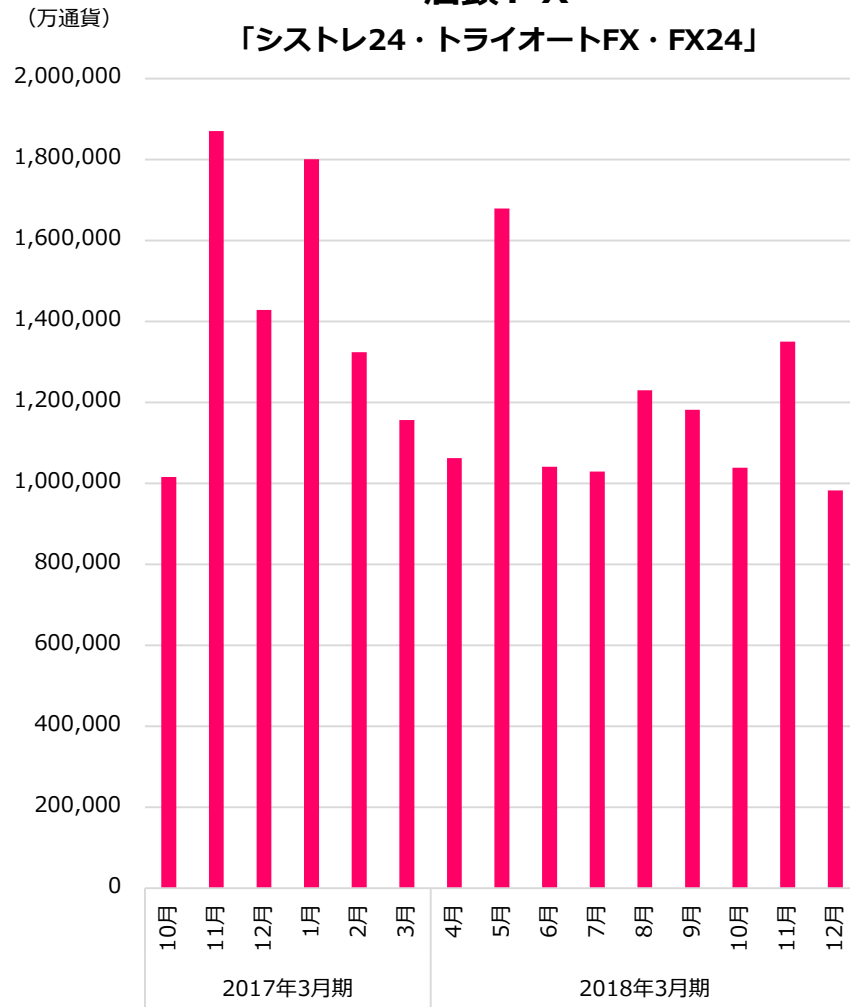
「くりっく株365」



【店頭FX・店頭CFD】取引高推移

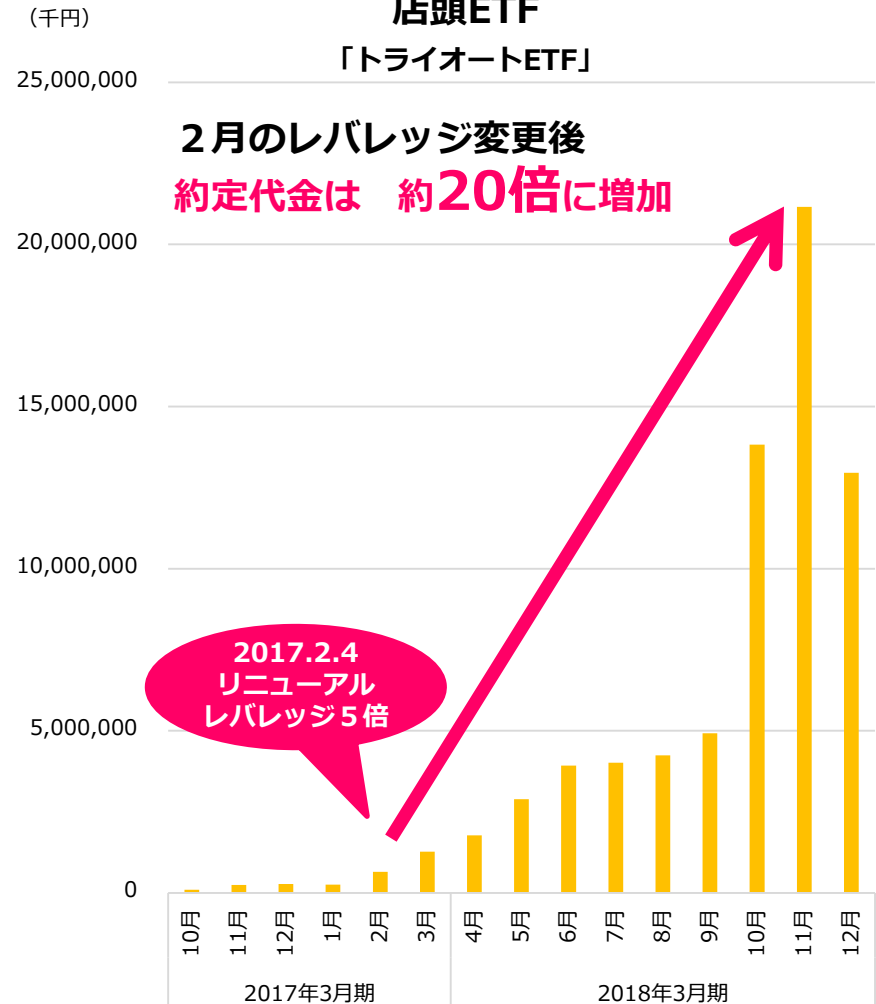
店頭FX

「シストレ24・トライオートFX・FX24」



店頭ETF

「トライオートETF」



※12月はクリスマス休暇等季節要因で減少するも顧客数、預り資産共に高成長ペースを維持、2018年は更なる成長に期待

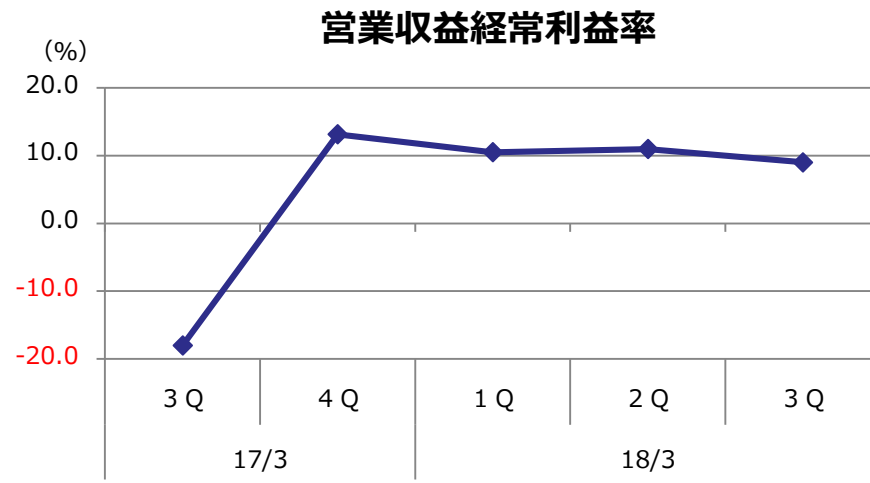
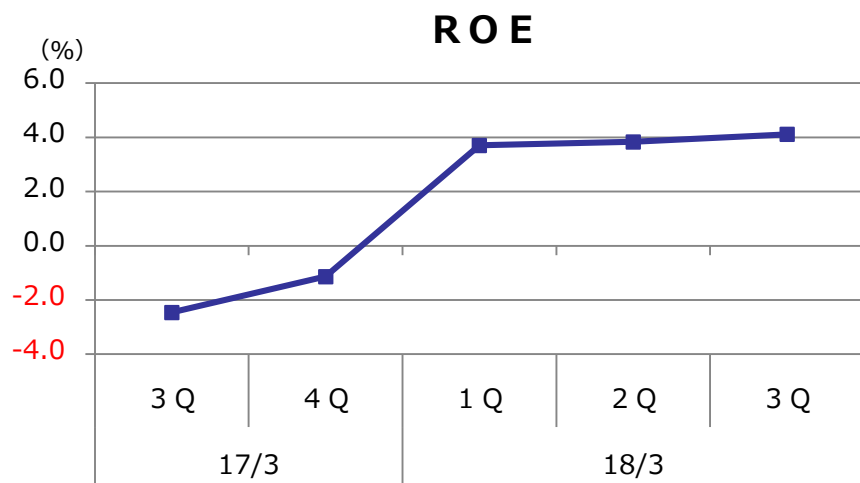
主要経営指標推移

	2017年3月期				2018年3月期			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
ROE (%)	2.0	△1.1	△2.5	△1.1	3.7	3.8	4.1	
営業収益経常利益率 (%)	7.7	△17.4	△18.0	13.1	10.5	11.0	9.0	
EBITDA (百万円)	159	△44	△70	218	177	188	161	
自己資本規制比率 (%)	1156.1	1096.5	1068.2	807.2	760.8	806.4	769.5	

※ 1. ROEは、四半期純利益を年換算して算出しております。

EBITDAは、「税金等調整前四半期純利益－特別損益＋支払利息＋減価償却費」で計算しております。

2. 2017年3月期末の自己資本規制比率の減少は、主に豪州子会社と銀行とのカバークレジット契約において、債務保証を行ったことによるものです。





株主還元・配当政策

株主還元・配当政策

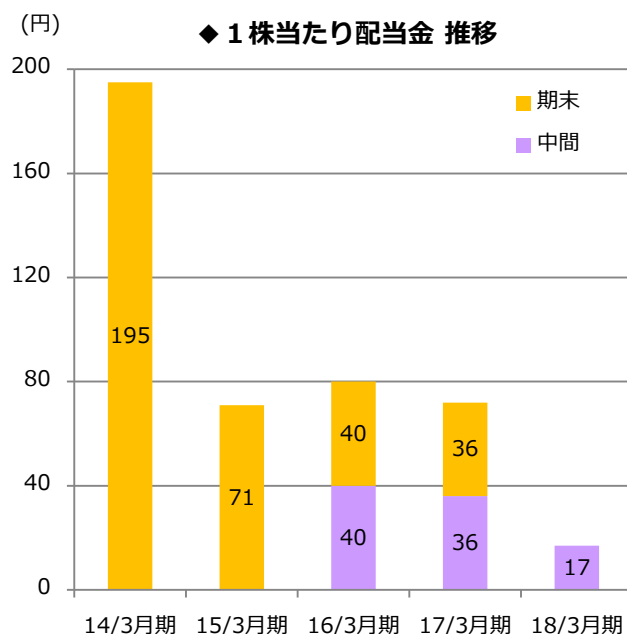
◆配当方針（2018年3月期以降）

連結配当性向30%または連結純資産配当率（D O E）2%（年率）のいずれか高い方を目安とし、
中間・期末の年2回の配当を実施

◆2018年3月期 配当

中間配当 17円

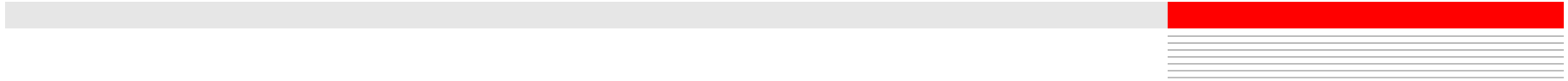
期末配当 未定



◆配当の実績

決算期		14/3月期	15/3月期	16/3月期	17/3月期	18/3月期
1株当たり 配当金額 (円)	中間	0.0	0.0	40.0	36.0	17.0
	期末	195.0	71.0	40.0	36.0	未定
	合計	195.0	71.0	80.0	72.0	
当期純利益 (百万円)		3,931	496	△404	△118	
配当総額 (百万円)		1,137	416	469	422	
配当性向 (%)		30.2	83.4	—	—	
R O E (%)		32.0	4.0	—	—	
D O E (%)		9.6	3.3	4.1	4.0	
配当利回り (%) ※		14.8	6.1	5.9	5.5	

※各年度末の終値で算出



トピックス



「マネーハッチ」とは？

クレジットカードのポイントなどを投資元本にする事で、元手ゼロから始める事が出来る積立投資です。様々な方法で積み立てられた資金は、週に1回、定期的にETF（上場投資信託）を自動売買し、実現利益は再投資されます。

■ 投資用資金はゼロ円からスタート ～ポイントを原資に～

- ・ 還元率1%のインヴァスト専用クレジットカードから毎月自動的にポイントを現金化
- ・ 当社がご提供する各種サービスでの取引キャッシュバック
- ・ 当社にご開設いただいている各種サービス口座/銀行口座からの自動振り替え

■ 自動で世界に分散投資

- ・ 投資先は国内外のETF（上場投資信託）
- ・ マネーハッチ開始時の自動売買における投資スタイル設定は「世界株自動売買ETF」
- ・ CFD（差金決済取引）形式での売買の為、投資元本は為替リスクなし
- ・ 手数料無料で0.1口からの小額買い付けが可能

■ 自動売買積立投資

- ・ 相場の上下値動きに伴い、安いところで買付け、値上がりしたら利益確定し、下がったところで再度買付けたり、利益を再投資に回すなどを完全自動

■ 還元ポイントは毎月全自動で現金化、ETF投資

- ・ ポイント現金化手続き一切不要、完全自動現金化
- ・ 現金化されたポイントは、自動的にETF投資原資に

■ ポイント還元率 1.00%

- ・ JACCSモール経由なら還元率1.50%以上
 - JACCSモールには人気ショップ550店以上
Amazon.co.jp 楽天市場/楽天トラベル ヤフオク
Yahoo!ショッピング ZOZOTOWN iTunes Store

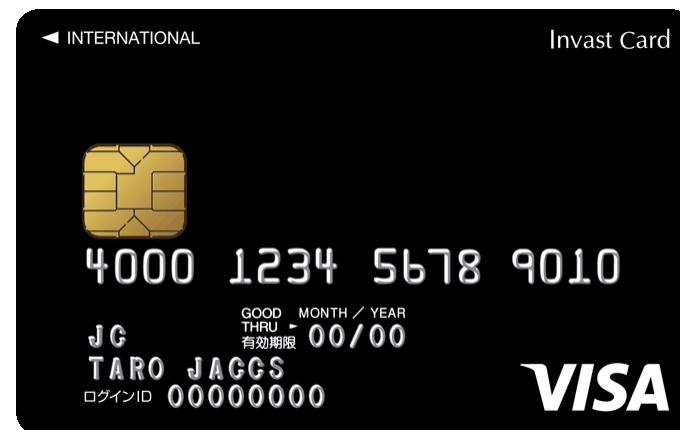
■ ご利用で年会費はずっと無料

- ・ 年会費は初年度無料
- ・ 翌年度以降も、前年度 1 回以上のカード利用で無料

■ 保険は充実のラインアップ

- ・ 国内旅行障害保険付帯（障害死亡・後遺障害保険金 最高1,000万円）
- ・ カード盗難保険
- ・ ネット安心サービス

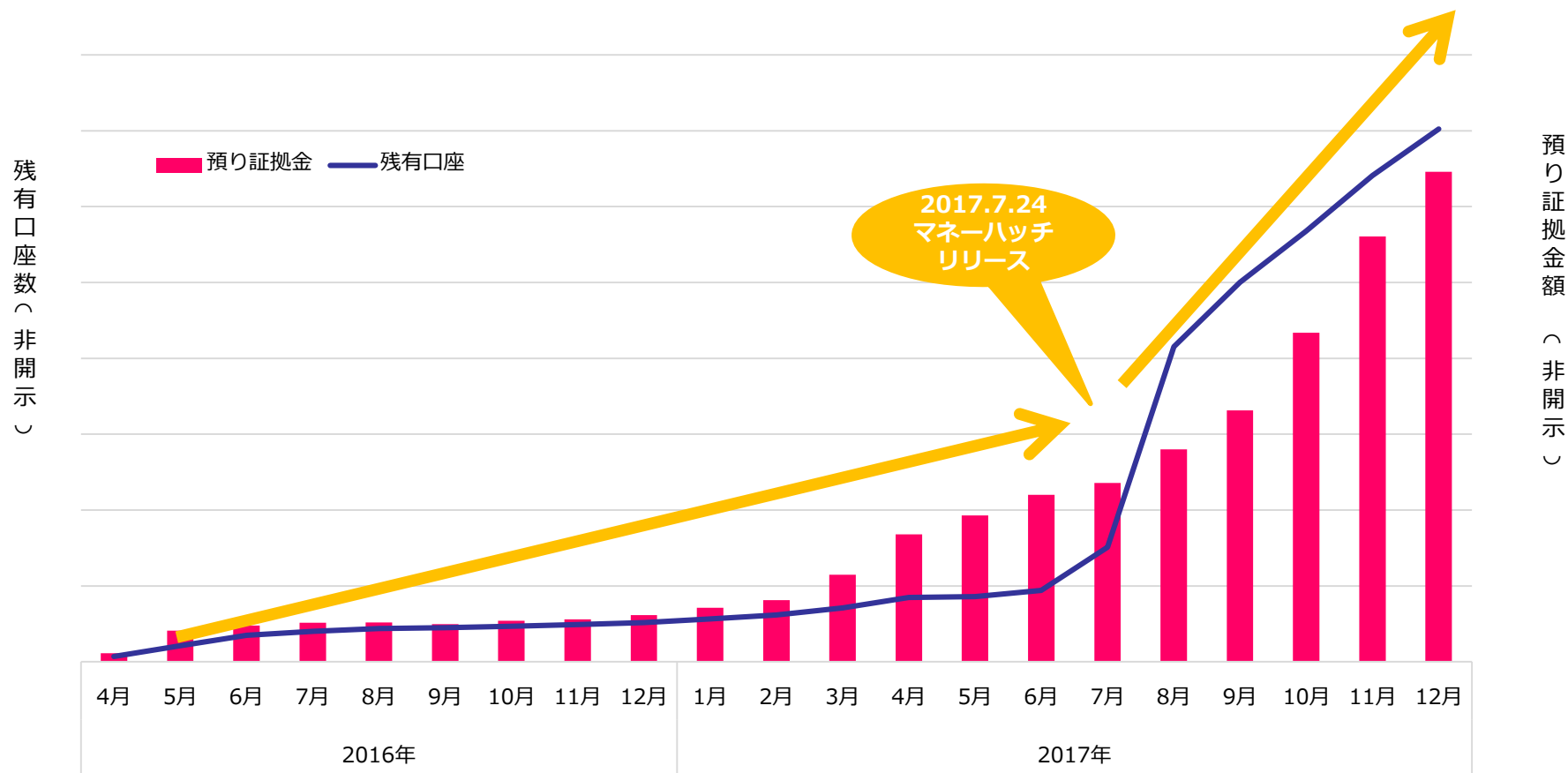
■ ETCカードは年会費無料、家族カードもご利用で年会費無料



マネーハッチ効果で「トライオートETF」事業が大幅成長

2017年7月の「マネーハッチ」リリース後

残有口座数 約**7.5倍** 預り証拠金 約**5.9倍**に増加

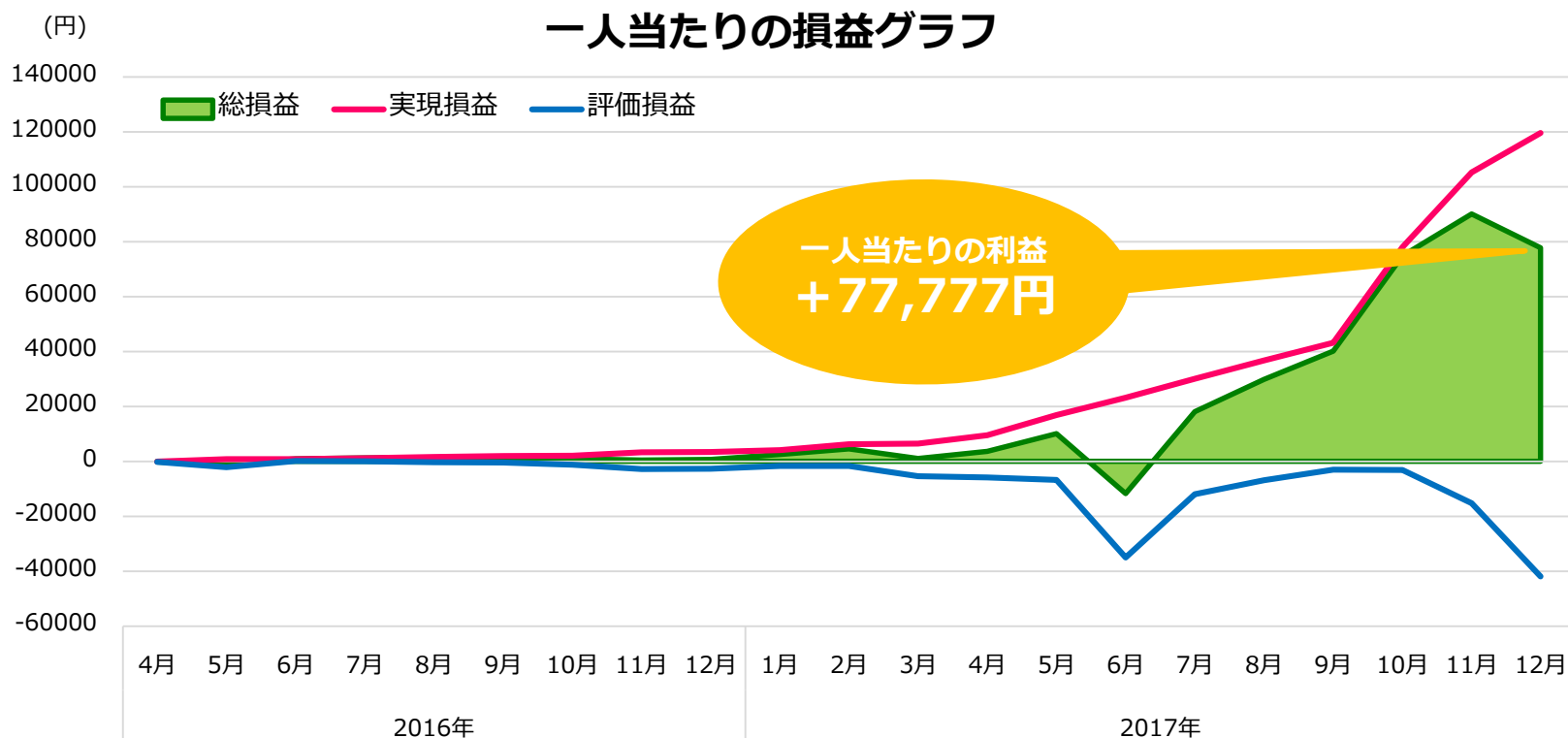




「トライオートETF」お客様一人当たりの売買損益はプラス

お客様一人当たりの損益（決済損益および評価損益の合計）

+77,777円（2017年12月末時点）



※2016年4月27日からのトライオートETF（マネーハッチは除く）の損益データです。

- 順調なビジネスの成長を実現

- お客様預り資産は対前年比で+47%増
- 取引高：
 - FX +31%, 指数CFD +277%, DMA CFD +51% (2017 vs 2016)
- お取引法人顧客数は2016年12月末時点に比べ、2017年12月末で+89%

- コーポレートガバナンスの強化

- マイケル・カニングハム氏を

Non-Executive Directorとして採用

略歴：金融業界で35年のキャリアを持ち、
オーストラリア/ニュージーランドの
ゴールドマンサックス財務会計責任者をはじめ、
東京三菱UFJオセアニアのチーフリスクオフィサー、
ASEAN地域におけるシティグループの
財務会計責任者などを歴任
KPMGパートナー時代には、アジアパシフィックに
おけるリスク管理や行政対応分野において活躍



FX Global Code of Conduct エグゼクティブ カクテルパーティ主催

2017年7月、オーストラリア中央銀行の副総裁、
ガイ・デベレ博士に加え、50名を超える投資銀行業界の
経営者をお招きし、昨年発表されたFX Global Code of
Conductに関する理解を深める為の、エグゼクティブ
カクテルパーティを主催しました。

※写真右：スピーチをするデベレ博士



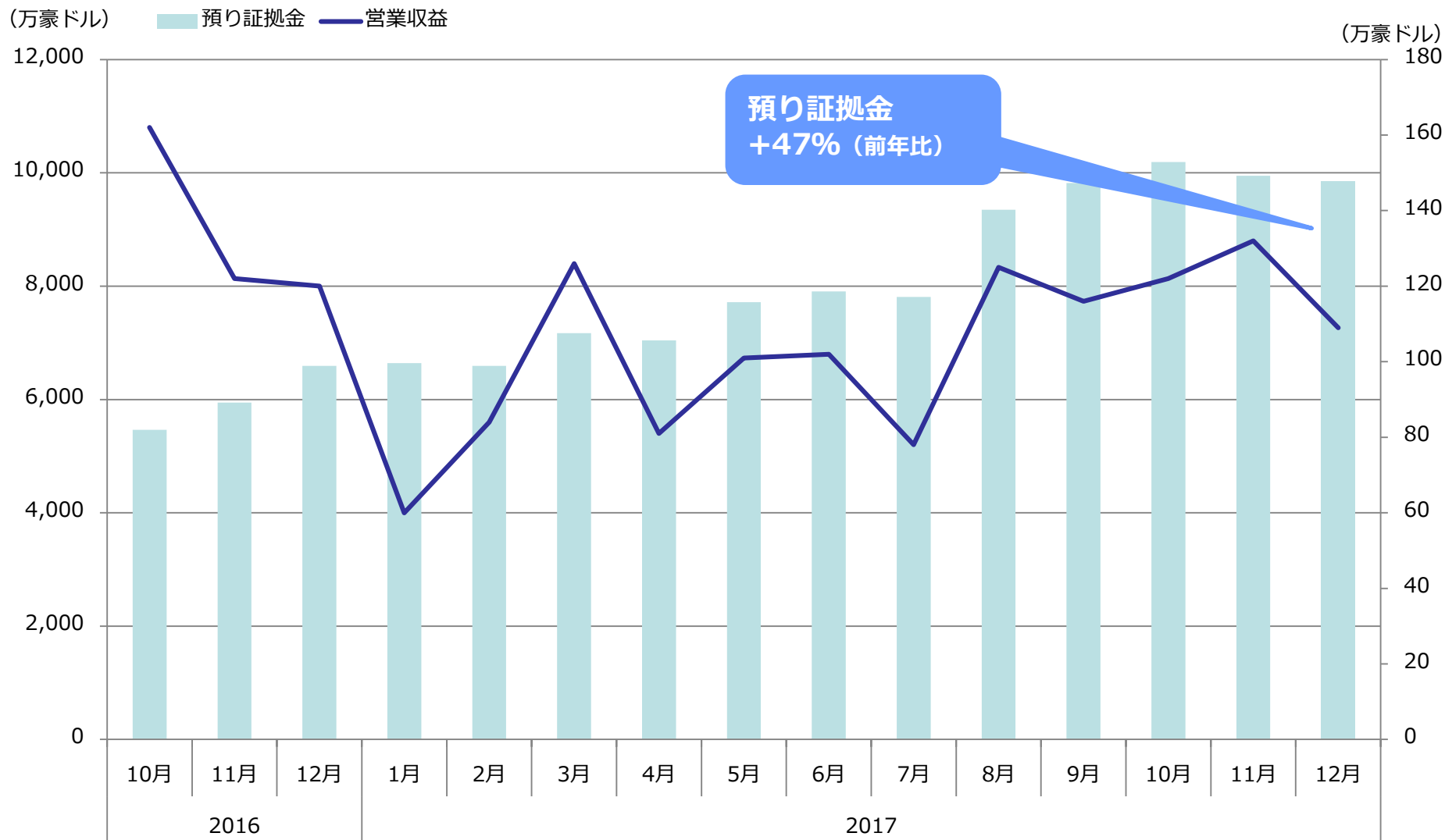
ヘッジウィークアワード ベストスペシャリス トプライムブローカー2017を受賞

オセアニア金融業界における著名アワードにも多数ノミネート
FXWeek グローバルアワード, HFM グローバルアワード,
ファイナンスマグネッツ グローバルアワード 2017





【IFS】 営業収益・預り証拠金推移



インヴァストミッションプロジェクト

ミッションプロジェクト … インヴァスト証券のFXサービスで期間中にお取引いただいたお客様の取引数量に応じて社会貢献ポイントが貯まります。
お客様は貯まった社会貢献ポイントを使って、当社が選んだ認定NPO法人に寄付をしたり、社会貢献を支援するグッズに交換することができます。

認定NPO法人への寄付を選んだ場合



2017年の寄付先と社会貢献グッズ（実施期間 1月3日～11月30日）

福島を未来を背負った高校生の放課後の居場所費用

寄付金総額
456,714円

支援人数
42人

NPO 市民リバ

子ども 教育 被災地

赤ちゃん縁組事業

寄付金総額
1,619,361円

支援人数
107人

Florence
認定NPO法人フローレンス

子ども 教育

情熱とポテンシャルのある教師の採用と研修・支援

寄付金総額
492,149円

支援人数
38人

Teach For JAPAN

子ども 教育

ホームレス状態にある方の保証人提供に伴う諸費用

寄付金総額
283,686円

支援人数
36人

自立生活サポートセンター・もとい

貧困 コミュニティ

児童養護施設の建て替え資金支援

寄付金総額
910,951円

支援人数
54人

Living in Peace

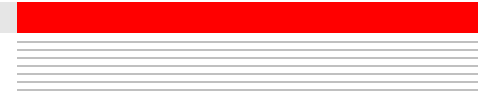
子ども 貧困

社会貢献グッズ（寄付金控除対象外）

寄付金総額
428,584円

支援人数
36人

グッズ



Mission/Vision ・ 経営戦略

Mission 存在する目的

世界をもっと、良い場所にする

世界中の人々の金融面における課題を解決するソリューションを提供し、人々の幸せを通じて世界を「もっと良い場所」にする。

私達の考える「もっと良い場所」とは、一生懸命働いている人が、ちゃんと豊かになれる世の中であり、優秀で、意欲のある学生が、お金を理由に未来の選択肢を諦めなくても良い世の中であり、どんな人でも、幸せになる為の資産形成が出来る世の中です。

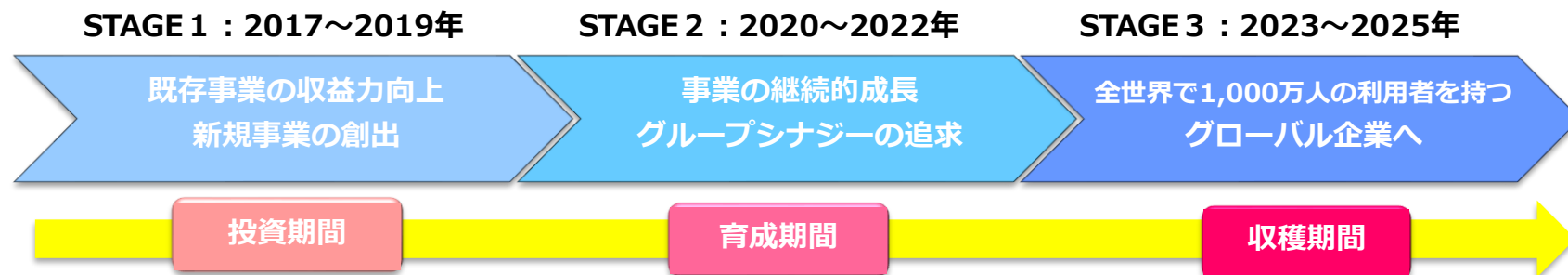
私達のミッションは、世界中の人々が、それぞれに思い描く人生設計において、金融面の課題を解決するソリューションを生み出すこと、挑戦する人をサポートし、より多くの人々が人生を豊かにするためのチャンスをつかむ、お手伝いをすることです。金融という側面から、世界中の人々の幸せを通じて、より良い世界の構築に貢献していきたいと考えております。

Vision 目指す姿

2025年までに全世界で1,000万人の利用者を持つ 金融ソリューションを生み出す

資産運用からスタートし、育児や教育、就職や結婚、資産形成など、世界中の人々の人生における様々な分野で、金融面の課題を解決するソリューションの創造を目指します。私達は、全世界から集まった優秀な人材が、日々、本物のプロフェッショナルとしての責任を果たし、ビジョン達成の為に議論し、決断を下し、実行に移す、世界中に顧客を持つグローバル企業になります。その第一歩として、2025年までに全世界で1,000万人の利用者を持つ金融ソリューションを生み出します。

ビジョン達成に向けた経営戦略



経営戦略（STAGE1：2017～2019年）

① 既存事業の収益力向上

- ・ 独自の付加価値サービスの提供力強化（テクノロジーを活用した自動売買ソリューション）
- ・ 高い収益性、成長が見込める事業への優先投資
- ・ システム統合、内製化等によるコスト構造改革

② 新規事業の創出

- ・ 新たなビジネス領域への進出、F X 事業に次ぐ第2・第3の収益の柱を創る
- ・ 人々のお金に関する課題解決を軸とした事業模索
- ・ V C ファンド出資を通じたM & A、事業提携等

③ その他

- ・ 企業ブランドの構築
- ・ グローバル展開に対応しうる優秀な人材の獲得、組織の人材基盤強化

インヴァスト証券の会社概要（2017年12月31日現在）

■ 会 社 名	： インヴァスト証券株式会社（INVEST SECURITIES CO.,LTD.）
■ 所 在 地	： 東京都港区西新橋一丁目6番21号 NBF虎ノ門ビル
■ 設立年月日	： 1960年8月10日
■ 資 本 金	： 59億6,508万円
■ 上場取引所	： JASDAQ市場 2006年3月6日 証券コード：8709
■ 代 表 者	： 代表取締役社長 川路 猛（かわじ たけし）
■ 主要な事業	： 金融商品取引業（第1種/第2種/投資助言業） 関東財務局長（金商）第26号
■ 加入取引所	： 東京金融取引所



免責事項

- ・本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。
- ・本資料に記載されている情報には、将来の見通しに関する記述が含まれています。
将来の見通しに関する記述には、様々なリスクや不確定要因が伴うため、現実の結果が将来の見通しに関する記述に含まれる内容または将来の見通しに関する記述で示唆されている内容と大きく変わる可能性があります。
- ・本資料に掲載されている情報の正確性については万全を期しておりますが、その時点で提供可能な情報であり、その完全性、正確性、適用性、有用性等いかなる保証も行っておりません。
- ・掲載された情報に基づく判断については、利用者の責任のもとに行うこととし、当社はこれにかかわる一切の責任を負うものではありません。